

『つぶやけ ノボル』

Mari Sasaki

『つぶやけノボル』をご存じだろうか？

かつて 1990 年後半頃、「栃木弁で呟く」という芸で一世を風靡した「つぶやきシロー」というピン芸人がいたが、この『つぶやけノボル』は、自分が呟くのではなく、人に呟かせるのである。

ふと誰かが口にした話を聞き逃さず、それを「呟け」（文章にして掲載せよ）と促すのである。

しかし『つぶやけノボル』は、実際には「呟きませんか？」と、いたって丁寧におっしゃる。

シローは栃木の冴えない男だが、ノボルは紳士である。

だが油断してはいけない。

我々がうっかり口にしたが最後、すぐにノボルの網に掛り、今まで何人の人が HP というノボル城に連れ去られたであろうか。

かく言う私も、先日ついうっかり「最近プールでクィックターンの練習をしているので、毎日船酔い気分なんです」と言ってしまう、危うく呟かされる所であった。

危ない危ない。

そういうわけで、週末家で花見をしたというイベント情報や、階段から滑り落ちたなんていう痛い出来事も、庭の蜘蛛を退治しようとして蜘蛛の巣に引っ掛かってしまうという鈍臭いことも、うっかり口にしてはいけない。

客人がたくさん来られたのにトイレのタオルをセットするのを忘れていたことにお開きの後気がついたとか、差し入れのワインを出し忘れていたなどというドジな話ももつての他だ。

クィックターンの練習で、どうしても犬神家（水中で逆立ち）になってしまうというネタも、早く忘れなければいけない。

家の天井近くの壁にじっと 1 年以上微動だにせず引っ付いたままで、黒っぽくなったので死んだかな？と放っておいたら、最近になって緑色になってきて、生きてたんだ疑惑のカメムシがいるというトピックもある！（観察中）

でも言うてはいけない！

口にしてはいけない、忘れなくてはいけないことが多すぎて、肝心なことが覚えられない。

紳士のお面...いや、仮面を被った『つぶやけノボル』に、皆さんもご用心！

.....

【つぶやけノボルのつぶやき】

ヤバイ！ドツマゲタ。まさかこれほどでっかい「つぶやき」が釣れるとは！予想だにしとらんかった。こりゃあ重すぎて重すぎて、大漁を喜ぶどころじゃない。とてもじゃないがノボルの HP には載せきらん。丁寧に丁寧に何とかなだめすかして、『文藝春秋』かどっかへ持っててもらわにゃあいけん。一ほいじゃが、顔を見た途端、蛇に睨まれたカエル。よお言い出さんのじゃないか？